

科目番号	51004	分類		履修者	高度実践看護コース	学年
科目名	診察・診断学特論（包括的健康アセスメント） (Physical Examination and Diagnosis)					1
						配当シスター
						前期
担当者	○浦中 桂一 他12名	区分	必修	単位	2	時間数
					カリキュラム	30
					特定行為研修（実時間）	
					研修対応時間	29.25
授業の概要および目標					学位授与の方針と関連	
【概 要】 医療における診察、診断の意味を理解し、患者の状況に合わせた診察、診断が行えるようにするための知識を得る。診察で得られた生理学的な所見を用いた科学的根拠に基づく診断を理解する。具体的には、診察の方法、診断のための検査（血液データの解釈、X線、心電図など）の読影を理解する。 【目 標】 1. 患者の状況に合わせた診察・診断を理解する。 2. 診断のための検査データの解釈、画像診断を理解する。					○ 1	クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力
					○ 2	クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力
					3	患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力
					4	専門職としての倫理的意思決定能力
					5	高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトップマネジメント能力
					6	臨床実践に潜む暗黙知を形式知へと創出する研究開発能力
					○ 7	クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力
授業計画						
回	内容					担当教員
第1回	Ⅰ. 臨床に必要な診察・診断（医療面接の理論と演習・実習） 1) 診療のプロセスと病歴聴取・診察の重要性 2) 医学情報収集の観点から見た面接技術					浦中 他12名
第2回						
(授業は順不同) Ⅱ. 臨床検査						
第3回	1) 検査の意義と目標、種類と特性 2) 検査の倫理と安全、検体保存 ・各種臨床検査の理論と演習					
第4回	3) 心電図（12誘導、モニター心電図） ・主要疾病の病態と臨床診断・治療の概論（循環器系）					
第5回						
第6回	4) 重症患者に見られる異常値 ・救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 ・在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習					
第7回	5) 血液ガス分析の解釈（酸塩基平衡の解釈など） ・救急医療の臨床診断・治療の特性と演習					
第8回	6) 病理検査（細胞診、組織診） ・主要疾病の病態と臨床診断・治療の概論（腎泌尿器系）					
第9回	7) 炎症所見の考え方 微生物学検査、骨密度検査・スパイロメーター・脳波など ・各種臨床検査の理論と演習					
第10回	8) 血液生化学検査異常 ・主要疾病の病態と臨床診断・治療の概論（血液・リンパ系）					
Ⅲ. 画像検査（画像検査の理論と演習）						
第11回	1) 放射線の基礎					
第12回	2) 胸部X線検査と読影					
第13回	3) 腹部X線検査と読影					
第14回	4) 超音波検査による画像診断の特徴（腹部）					
第15回	5) 超音波検査による画像診断の特徴（心臓）					
第16回	Ⅳ. スクリーニングの実施と予防					
事前・事後学習	事前学習：当日の課題に関し参考図書の内容を予習し理解して授業に参加する。 事後学習：授業の内容を配布資料と参考図書等で復習する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。					
評価の方法	筆記試験等で評価する。フィードバックは適宜行う。					
参考図書・資料等	◎1) 江原 茂：画像診断を学ぼう・単純X線からCT・MRI・超音波まで、 メディカル・サイエンス・インターナショナル ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。					
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。					